



研究部会報告

● 意思決定法 ●

・第53回

日 時：2021年6月11日（金）16：30～18：30

場 所：オンライン開催

出席者：13名

テーマと講師、及び概要：

- (1) 「プレスのパラドックスにおける階層分析による
マクロ意思決定的考察」

杉浦 伸（名城大学）

本発表では、プレスのパラドックスについて説明し、プレスのパラドックスをミクロ意思決定問題としてとらえ、行政や企業が新たな経路を作る場合は、多属性意思決定の視点からマクロな意思決定と位置づけ、階層分析をもとに考察した。参加者からは実際の事例や現実問題とのつながりを調査する必要性・有効性など、さらなる課題の指摘・コメントがあった。

- (2) 「Multi-branch treeを用いた予算配分法とその誤差評価について」

大山口菜都美（秀明大学）

本発表では、Multi-branchtreeを用いた予算配分方法を紹介し、評価者が与える評価値のゆらぎによる、全体の予算配分割合への影響について考察した内容を報告した。参加者からは、別視点からの手法の理解についてコメントがあり、活発な議論を行った。また、国際学会 KES-IDT についての紹介も行った。

● 待ち行列 ●

・第296回

日 時：2021年6月19日（土）14：00～17：00

場 所：オンライン開催

出席者：19名

テーマと講師、及び概要：

- (1) 「一期一会の数理とその応用」

已波弘佳（関西学院大学）

本講演では、人のすれ違いの性質に着目した空間的なモビリティモデル、およびその通信分野への応用に関する種々の話題が紹介された。講演の前半では、すれ違い頻度分布がべき乗則に従う、ホームシック・レヴィ・ウォークについての紹介があった。講演の後半では、その応用として蓄積搬送型通信に注目し、人のモビリティを考慮した伝搬方式や、Virtual Segment 方式と呼ばれる、拠点間的高速通信と端末間の蓄積搬送型通信を組み合わせた方式などの紹介があった。

- (2) 「メッセージ分割が発生するネットワーク環境での最適なパケット長について」

池川隆司（東京大学・早稲田大学・神奈川工科大学・（株）アルテ）

本講演では、主にIoT/M2M通信を対象として、パケット長が種々の通信品質に対して与える影響の解析に関する報告が行われた。講演の前半では、一般のインターネットから近年の無線通信に至るまで、通信品質の観点から最適なパケット長を決定する問題に関するさまざまな研究事例の紹介があった。講演の後半では、IoTネットワークに着目し、メッセージ分割時のグッドプットの解析およびそれを最大化するペイロード長の近似解が紹介された。

● 危機管理と公衆安全 ●

・第2回

日 時：2021年6月24日（木）15：00～16：30

場 所：オンライン開催

出席者：19名

テーマと講師、及び概要：

- (1) 「日本の水道インフラが抱える課題に関する計量分析」

河瀬雄司、本明 悠（メタウォーター株式会社）

本講演では、日本の水道事業における運営の現状について述べられ、水道事業が抱える重要課題が示された。さらに、東日本大震災の復興の前後における、特定自治体の水道事業の運営の変化について、一部検証結果が紹介された。そして、検証結果に基づく水道事業体の事業維持に関する仮説的考察についても示された。